Hisense



取扱説明書

保証書付き

5ドア冷凍冷蔵庫 家庭用

品番 **HR-KC45L**

安全上のご注意	1
ご使用の前に	3
冷蔵庫の使い方	5
冷蔵室	7
野菜室	9
速冷室 冷凍室	10
貯氷室(自動製氷機)	11
各機能の使い方	13
お手入れのしかた	14
こんなときは	18
故障かな？！	19
仕様	22
アフターサービスについて	23
保証書（出張修理）	裏表紙

お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」（1，2 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

●本製品は一般家庭用のため、業務用には使用しないでください。

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになるご本人や周囲の人々への危害・物的損害を未然に防止するため、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

表示の分類

本書では、必ずお守りいただく事項を以下のように分類しています。

⚠ 警告	人が死亡したり、重大な損害を受ける可能性がある内容を示します。	⚠ 注意	人が負傷したり、物が破損する可能性がある内容を示します。

図記号の意味

⃠ してはいけない内容を示します。	❗ ⏚ 必ず実行しなければならない内容を示します。

⚠ 警告

電源プラグ・コードについて

⃠ **電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしない。**
●火災や感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込み、傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使わない。
●火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
●感電やけがの原因になります。

電源プラグを冷蔵庫の背面で押しつけない。
●火災や感電の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。
●湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

❗ **電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用する。**
●たこ足配線などで定格を超えると発熱し、発火・感電の原因になります。

電源プラグはコードが下向きになるように差し込む。
●感電の原因になります。

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。
●感電の原因になります。

長期間使用しない場合は電源プラグを抜きドアを開け乾燥させる。
●乾燥不十分の場合、冷却器の腐食で冷媒漏れのおそれがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く。
●感電の原因になります。

設置について

⃠ **屋外や軒下など水がかかる場所には設置しない。**
●絶縁が悪くなり、火災や漏電の原因になります。

冷蔵庫の周囲のすき間はふさがない。
●冷媒が漏れると滞留し、着火の原因になります。

❗ **水平で丈夫な床に設置し、調整脚でしっかり固定する。**
●冷蔵庫が移動する場合がありけがをするおそれがあります。

地震の際の転倒に備え、転倒防止処置をする。
●転倒して、けがの原因になります。
転倒防止措置の部材や工事費は本製品の価格に含まれていません。(☞3ページ)

⏚ **湿気の多い場所、水気のある場所に設置する際は、必ずアース（接地）・漏電遮断器の取り付けをお買い上げの販売店に相談する**（アース工事費は本製品の価格に含まれていません）
●取りつけないと、漏電して、感電の原因になります。

⃠ **車庫や小屋などでは使用しない。**
●小動物等によって配線を傷つけられるおそれがあり、感電、火災の原因となります。

使用について

⃠ **修理技術者以外は、絶対に分解、修理、改造をしない。**
●発火や異常動作による、火災や感電の原因になります。

ドアにぶらさがらない、のらない、本体の上にのらない。
●けがの原因になります。

冷蔵庫の上に絶対にものを置かない。
●振動で落下するなど、けがの原因になります。

本体や庫内に水をかけたりしない。
●ショートによる火災や感電の原因になります。

庫内に引火しやすいものを入れない。
●家庭用冷蔵庫では感電や引火、爆発の原因になります。

薬品・学術試料などを入れない。
●温度管理の厳しいものは保存できません。

本機に爆発の可能性のあるもの、たとえば、可燃性の高圧ガスが充填されているスプレー缶などは入れない。
●爆発の原因になります。

⚠ 警告

使用について（つづき）

可燃性高圧ガスが入ったエアゾール缶のような爆発性物質を入れない。

使い方が慣れていない体の不自由な人や子どもなどは、安全のため、保護者の元で使用する。
● けがの原因になります。

脱臭器、霜取り器などすべての電気製品を入れない。
● 冷媒が漏れていると電気製品の接点の火花による着火、着火による爆発の原因になります。

可燃性スプレーを近くで使わない。
● 感電や引火、爆発の原因になります。

都市ガスなどのガスが漏れたら、電源プラグに触れたり、冷蔵庫に触れたり、冷蔵庫のドアを開けたりせず、ガスの元栓を閉め、窓を開けて換気をする。
● 感電や引火、爆発の原因になります。

本体の冷却回路（配管/本体背面など）を傷つけない。万一、冷却回路を傷つけたときは、窓を開けて換気し、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターに相談する。
● 可燃性冷媒を使用しているため、感電や引火、爆発の原因になります。
● ショートによる火災や感電の原因になります。

冷凍室・速冷室内についた霜は、刃物やアイスピックなど、金属の鋭利なもので取らない。万一、傷つけたときは窓を開けて換気する。
● 発火、爆発、けがの原因になります。

液体の入った容器は必ずふたを閉める。
● こぼれると絶縁不良となり、火災の原因になります。

自動ドアや火災報知器などの自動制御装置の近くでは使用しないでください。

異常を感じたり故障したとき

電源コードが破損した場合、プラグが異常に熱い、電源コードに深い傷や変形がある、焦げ臭いニオイがする、ビリビリと電気を感じるなどの場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に点検・修理依頼をする。
● 発煙・発火・感電の原因になります。

⚠ 注意

使用について

冷凍室・速冷室にビン類やカン類を入れない。
● 中身が凍って膨張したり、割れて飛び散るおそれがあります。

⚠ 注意

使用について

棚より前にはみ出して、ものを置かない、またドアポケットに入りきらないものは入れない。
● 落下して、破損やけがのおそれがあります。

冷凍室・速冷室の食品、とくに金属製の容器、氷など、ぬれた手で触らない。
● くっついたり、凍傷になるおそれがあります。

異臭がしたり、変色した食品は食べない。
● 腐敗による病気のおそれがあります。

ガラス棚に強い衝撃を与えない。
● 割れてけがのおそれがあります。

製氷皿上部の機械部分に触れない。
● けがの原因になります。

製氷が停止しない場合は製氷皿を引き出さない。
● 故障のおそれがあります。

他の人が冷蔵庫に触れているときは、ドアを開け閉めしない。
● 手や指をはさむおそれがあります。
● 故障のおそれがあります。

ドア開け閉めの際に周囲（壁や家具）にぶつからない様に注意する。
● けがの原因になります。

本機で子供が遊ぶことのないように注意する。
● けがの原因になります。

お手入れについて

冷蔵庫底面と床の間に手や足を入れない。
● 鉄板の断面でけがをするおそれがあります。

背面のコンプレッサーや配管に触れない。
● やけどのおそれがあります。

本体内部のお手入れに塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない。
● 本体内部に洗浄剤が残り、有毒ガスが発生し、健康を害すおそれがあります。

移動・運搬について

傷つきやすい床の上では、保護用の板を敷く。
● 床を傷めるおそれがあります。

調整脚で、丈夫で水平な床面に固定する。
● 冷蔵庫が動いたり倒れたりするおそれがあります。

運搬のとき、運搬用ハンドルを持って2人以上で運ぶ。作業用保護手袋を着用してください。
● 手が滑って怪我をするおそれがあります。

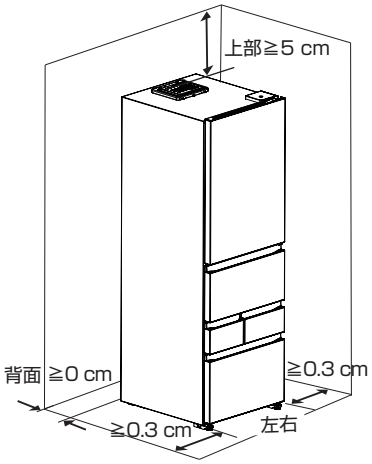
廃棄・リサイクルについて

リサイクルの際は、必ずドアパッキンをはずす。
● 幼児が閉じ込められるおそれがあります。

廃棄するときは販売店や市町村に引き渡す。
● 放置すると冷媒が漏れ出し、火気により発火・爆発のおそれがあります。

ご使用の前に

1 設置場所（次のような場所に設置してください）



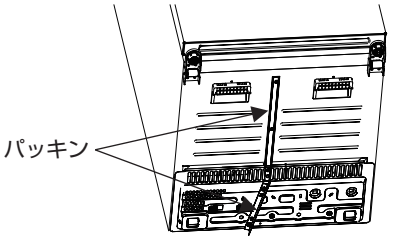
- **しっかり安定し、水平で丈夫な床に**
  床がじゅうたん、畳、塩化ビニール製の床材の場合、丈夫な板（1㎝厚以上）を敷いてください。
- **熱気・直射日光の少ないところ**
  冷却力の低下や、電気代の増加を抑えます。
- **湿気が少なく、風通しのよいところ**
  さびや、結露の発生を抑えます。
- **本体の周囲に放熱のための最小必要スペースを開けられるところ（右図）**
  放熱による空気の流れで、周囲の壁が汚れ変色することがあるのでご注意ください。

型番	左右	背面	上部
HR-KC45L	0.3cm以上	0cm以上	5cm以上

お願い：結露と騒音を避けるために、背面と壁の間に2cmの隙間を確保することをお勧めします。
床面の凹凸、キャビネットの変形、製造・設置誤差などを考慮し、左右の隙間は0.5cm以上をお勧めします。

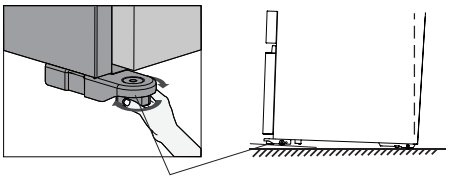
製品は底部放熱であり、底部のパッキンを取り外さないでください。冷却効果を確保するために、冷蔵庫の底部を清潔に保ってください。そのため、毎年設置のところのほこりやゴミを除去することをお勧めします。排熱のため空気の流れがありますが、故障ではありません。

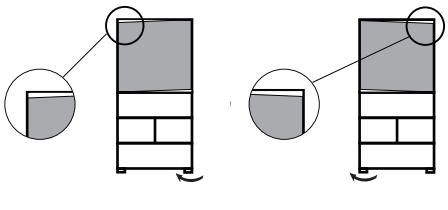


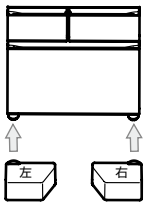


2 調整し、固定する

- 前面左右の調整脚を時計方向に回して床につけ、冷蔵庫が揺れないようにしてください。
- ドアが下がっている場合、下の図を参考に調整脚を回して、調整してください。
- 調整後、左右の脚カバーを取り付けます。


調整脚


右調整脚を矢印の方向に回す　左調整脚を矢印の方向に回す



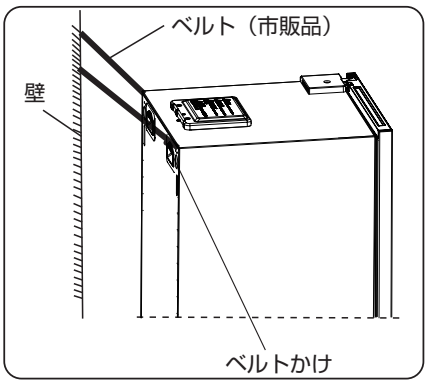
脚カバーを取り付ける

■ 数日後、再度確認し、調整する

- 食品の荷重や床面材料の強さにより、数日後ドアの下がりが生じる場合があります。その場合は再度調整をしてください。
  両側の脚カバーを取り外します。
  ドアが下がっいる場合、上の図を参考に調整脚を回して、調整してください。
  調整後、脚カバーを再度取り付けます。

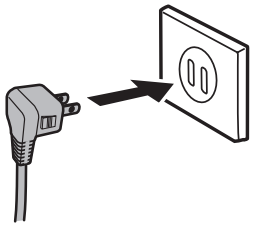
■ 地震に備えた転倒防止対策のおすすめ

- 地震などで倒れないように、固定することをお勧めします。
- 背面上部にあるベルトかけ（2か所）にベルトを通して、丈夫な壁や柱に固定します。
- ベルトは市販品を使用してください。（ベルトのサイズ規格：幅26mm以下、厚さ7mm以下）
  転倒防止処置の工事費は本製品の価格に含まれていません。



ご使用の前に（つづき）

3 電源プラグをコンセントに差し込む



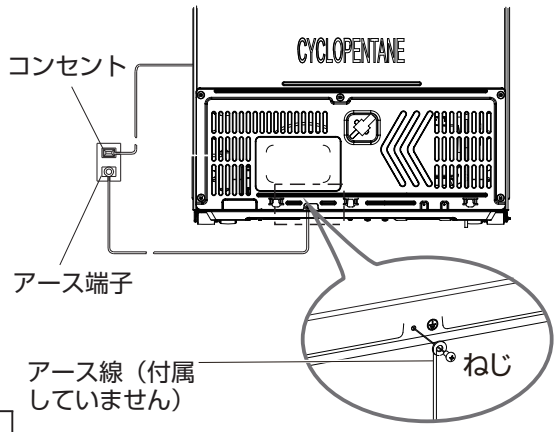
- コンセントは単独で差し込んでください。（交流100V、定格15A以上）
- 電源を入れたとき、冷蔵庫本体の表面が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 電源プラグを抜いたときは、10分以上経ってから差し込んでください。

4 アースについて

- 土間、洗い場、地下室など、特に水気や湿気の多い場所で使うときは、アースのほかに漏電遮断器の設置が義務付けられています。設置については、お買い上げの販売店にご相談ください。
  温泉地域、工場地域での使用は、空気中の成分によっては配管の防錆処置が必要な場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

- **コンセントにアース端子がある場合**
  アース線をコンセント側のアース端子と冷蔵庫背面下部の記号（⏚）の近くにあるアース接続ねじに接続してください。アース線（銅線直径1.6㎜）をお買上げの販売店、ホームセンターなどでお買い求めください。

- **コンセントにアース端子がない場合**
  お買い上げの販売店、または、電気工事店に依頼して、アース工事をご依頼ください。アース工事および関連費用は本製品の価格に含まれていません。



⚠ 警告	● **水道管、ガス管に接続しないでください。** 感電や爆発の原因となります。 ● **電話線や避雷針のアースには接続しない。** 感電の原因になります。 ※法令などで禁止されています。 ● **電気工事士の有資格者以外、絶対にアース工事をしない。** 感電の原因になります。

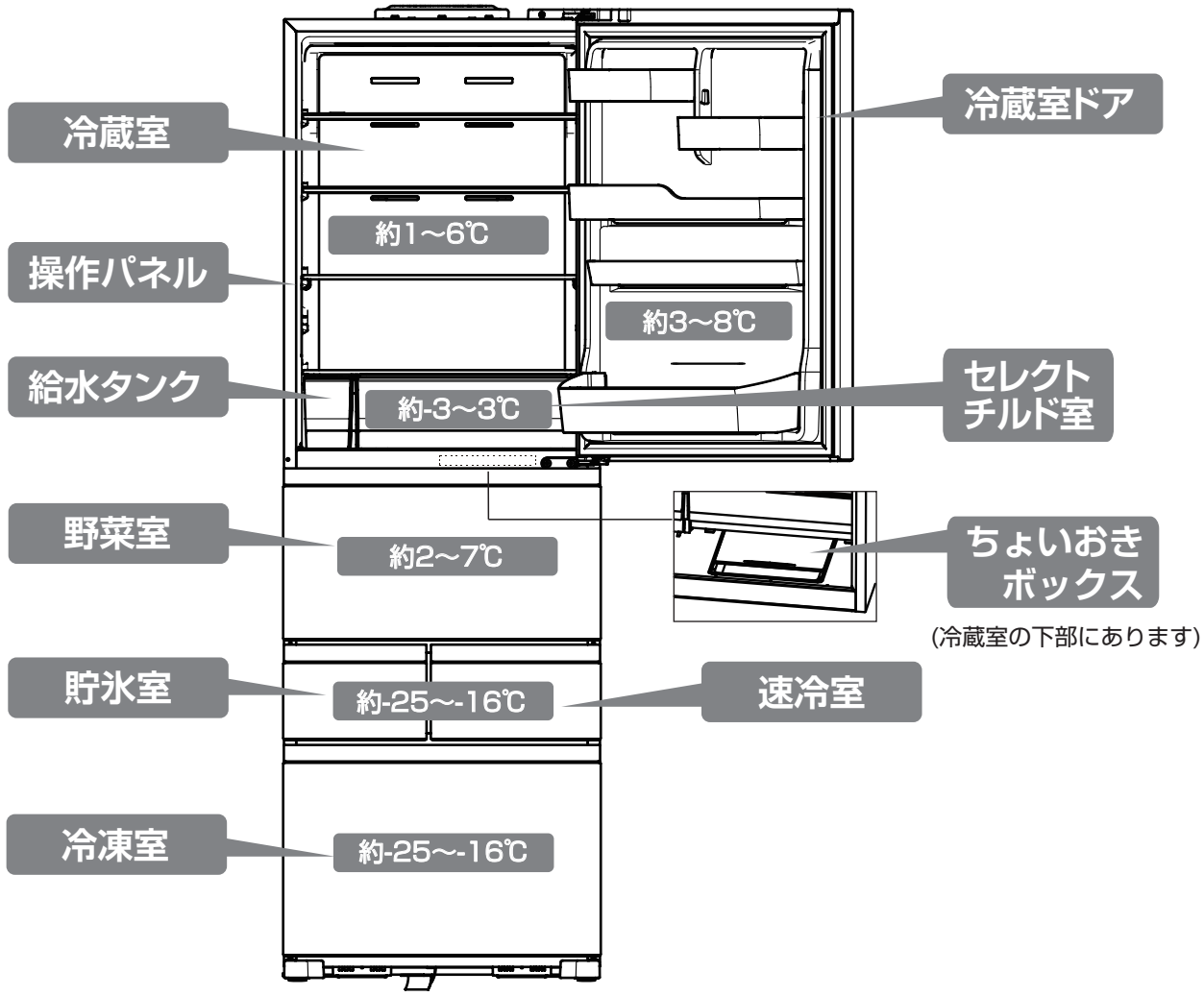
5 使い始めは

- 使い始めはプラスチック臭がする場合があります、気になるときは部屋の窓を開けて換気してください。
- 冷蔵庫の中を掃除する場合は、湿らせた柔らかい布で拭いてください。（☞ 14～17ページ）
- 給水タンクと貯氷ケースを洗浄し、自動製氷機を「おそうじモード」(☞11 、16、17ページ)
  で洗浄してください。
- 冷蔵庫を清掃するとき、レールの接触面やレールに付着した潤滑剤を拭き取らないでください。

6 庫内の冷却がはじまります

- 冷蔵庫の周囲温度や、食品の収納状態によって庫内が十分に冷えるまでに約4時間程度かかります。夏場など暑いときはしっかり冷えるまで24時間以上かかることがあります。
- はじめは大きい運転音がしますが、冷えるにしたがい小さくなります。
- ドアを開けて通電すると電子音が鳴るが、ドアを閉めると止まります。

冷蔵庫の使い方



各部屋の温度は、基準となる周囲温度が32℃で、食品を入れず、冷蔵庫のドアを閉めた場合に異なる設定で各部屋で実現できる温度変化の範囲です。
食品の収納状態やドアの開け閉めなどにより温度は変動します。

*本書のイラストと実際の製品では、形状が異なる場合があります。

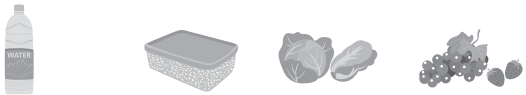
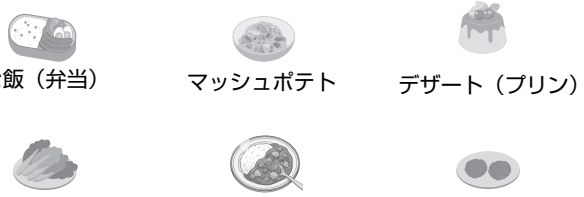
ドアアラーム

ドアの開放状態が1分以上になると下表のようにアラームが鳴り、ドアが開いていることをお知らせします。
冷蔵室、貯氷室、冷凍室にドアアラーム機能があります。(野菜室、速冷室にはありません)

ドア開放時間	1分後	2分後	3分後
アラーム	ピーッ（5回）	ピーッ（5回）	ピーッ（連続）

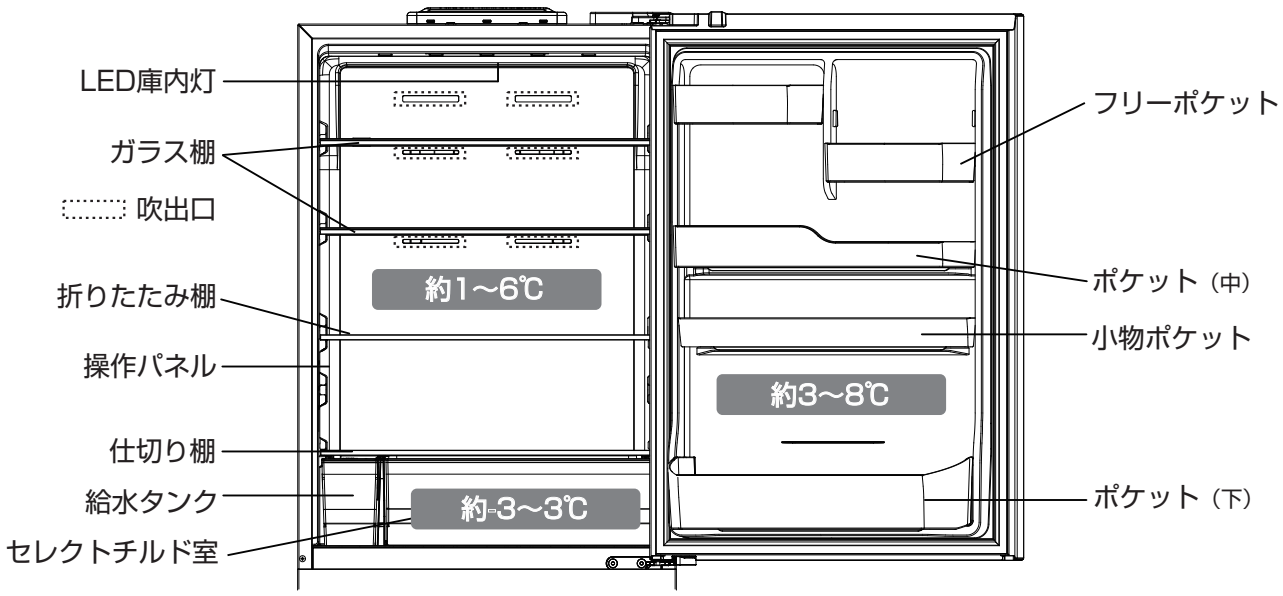
冷蔵室ドアを10分開けておくと、冷蔵LED庫内灯が消えます。
アラームは冷蔵室内にあるため、冷蔵室以外のドアが開いている場合はアラーム音が小さく感じられることがあります。

冷蔵庫の使い方（つづき）

保存部屋			保存おすすめ食品
	冷蔵室	棚 ドアポケット	 サラダ　ケーキ　牛乳　たまご　調味料　とうふ　2Lの水
		ちょいおき ボックス	 チョコレート　袋入り調味料　顔パック　冷却ジェルシート
	セレクト チルド室	微氷結	 精肉　鮮魚　さしみ
		チルド	 発酵食品 （漬物、味噌）　乳製品 （チーズ、バター）　ハムスライス
	野菜室		 飲み物　米　野菜　果物
	速冷室		 ご飯（弁当）　マッシュポテト　デザート（プリン） 下茹で野菜　カレー　コロッケ
	冷凍室		 アイス　氷　冷凍食品　精肉 ご飯　パン　生餃子

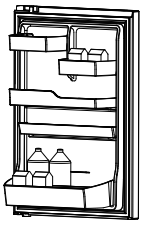
食品はすき間をあけて保存してください。
においの強い食材はラップをすることをお勧めします。

冷蔵室



ポケット

小物、たまご、缶飲料、ペットボトル、牛乳パック、調味料等の保管に最適です。

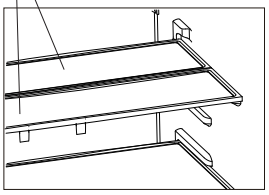


- ポケットは清掃が必要な場合、取りはずすことができます。
- ポケットより前面に飛び出してものを置いた場合、ドアが閉まりにくくなることがあります。
- ポケットの場所を変える場合、先にポケットから食品を取り出してください。

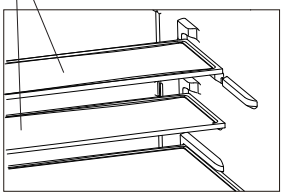
折りたたみ棚

- お好みに合わせて、高さ調整することができます。

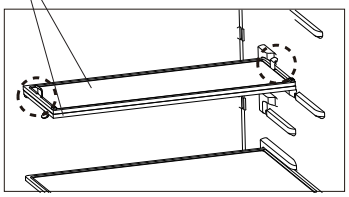
折りたたみ棚



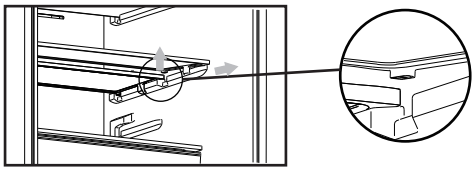
折りたたみ棚



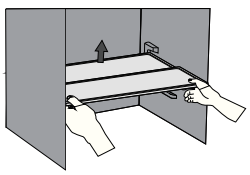
折りたたみ棚



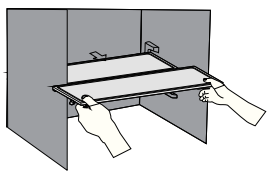
- 取り外すとき、折りたたみ棚後部の突起を持ち上げ、本体のレールから外すとそれを斜めに取り出します。



折りたたみ棚後部の突起を持ち上げ、前に引きます

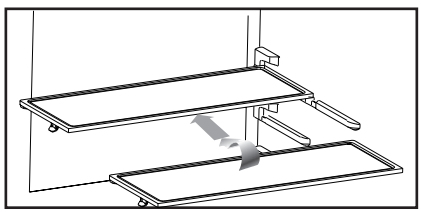


上に持ち上げる

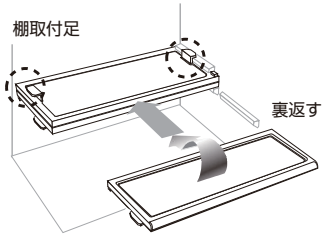


外に引き出す

- 取付方法：
  ① 折りたたみ棚を下段本体のレールに置き、レールの後方に押し込みます。
  ② 折りたたみ棚の取付足が上になるように、前方の折りたたみ棚を下に裏返します。



上下に2段で取り付ける



2枚を重ねて取り付ける

冷蔵室（つづき）

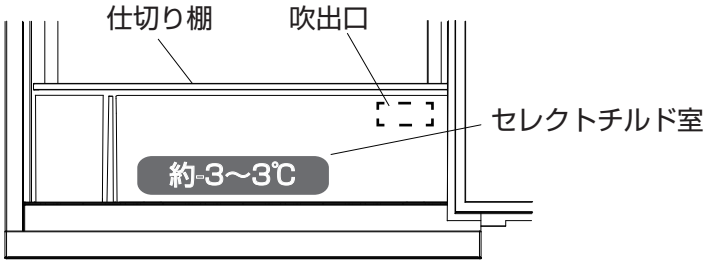
セレクトチルド室

セレクトチルドボタン

保存する食品に合わせて、2つのモードが選択できます。「セレクトチルド」ボタンを押し、以下のように設定を切り替えます。

→ 微氷結（約−3〜0℃）→ チルド（約0〜3℃）

「微氷結」が選択された場合、「微氷結」ランプが点灯し、「チルド」ランプが消灯します。「チルド」を選択すると逆になります。

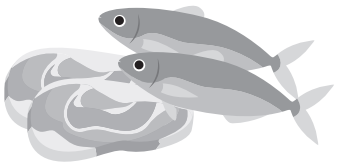




微氷結（約−3〜0℃）

肉・魚、生鮮食品（貝類、刺身など）を保存するのに適しています。

水分の多い食品は凍る場合があります。食品の種類によって微氷結しにくいことがあります（ブロック肉や大きめの魚など）



チルド（約0〜3℃）

凍らない程度に、しっかり冷やしたいものに適しています。

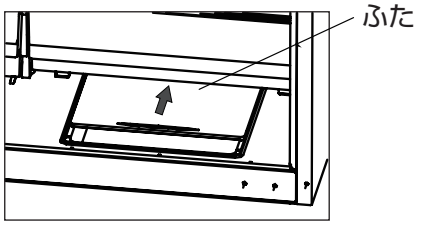
発酵食品（納豆、チーズ、みそなど）
加工食品（ハム、ソーセージなど）



冷蔵保存のコツ

- 吹出口付近に水気の多い食品を入れないでください。（吹出口の温度が低くなると、食品が凍ることがあるため）特に缶ビールや炭酸飲料などは凍ると破裂するおそれがあります。
- 密封容器に入れたりラップでくるむのがおすすめです。
- 肉や魚は密閉性のあるポリエチレンの食品保存袋などに入れてください。
- 加熱済み食品、低温食品等は保存容器に入れてください。
- セレクトチルド室の仕切り棚は、清掃時以外は取り外さずご使用ください。取り外すと、セレクトチルド室が使用できません。
- セレクトチルド室には、引き出しの高さより高い食品を入れないでください。
- セレクトチルド室に入れる食品は間隔をあけて保存してください。

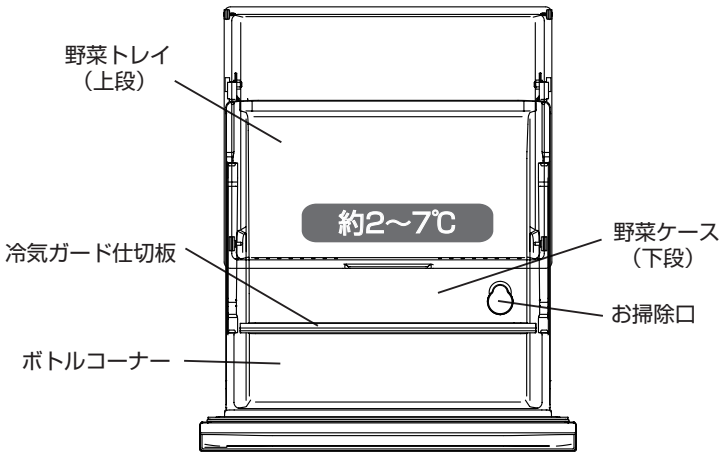
ちょいおきボックス



ご注意

- 缶などが落下するとふたが割れることがあります。

野菜室

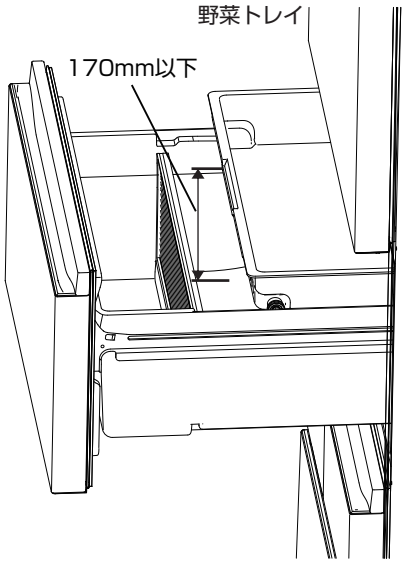


野菜トレイ：小さな果物や野菜を保存できます。
冷気ガード仕切板：野菜トレイと共に野菜ケースを密封し、野菜ケース内の湿度を保ちます。
ボトルコーナー：ペットボトル飲料などを収納できます。500mlまでは立てて入れることができます。
野菜ケース：中・大型の果物や野菜の保存に適しています。
お掃除口：野菜ケースの底にあります。

食品保存上の注意事項

下段の野菜ケースに食品を入れるときは、

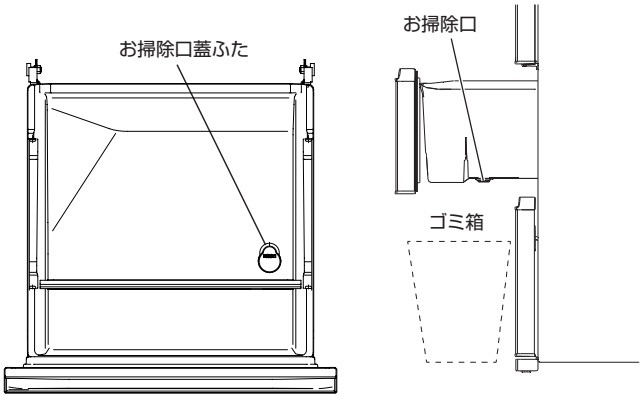
上段の野菜トレイに当たらない高さまでにしてください。



野菜クズ等の捨てかた

野菜ケースをはずさずに掃除できます。

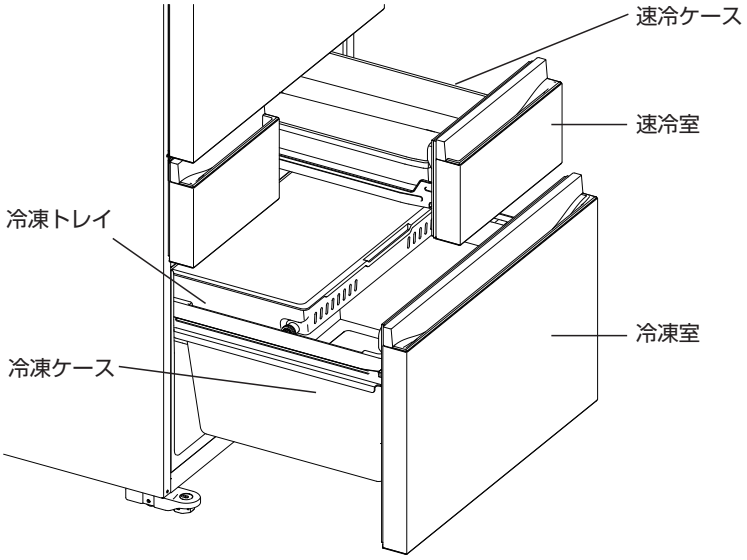
- 野菜室のドアを開け、ゴミ箱をお掃除口の下に置きます。蓋を取り外し、お掃除口を通してゴミをゴミ箱に落とします。お掃除口ふたを元に戻し、野菜室ドアを閉めます。
- 汚れがひどいときは野菜ケースをはずして水洗いしてください。



野菜室での保存上の注意

- 果物や野菜の容器に入った食材は、時々表面に結露することがあります。これは正常な現象です。
- 野菜の水分などが容器に結露したり、溜まったりすることがあります。結露や溜まった水は、乾いた布で拭いてください。
- 野菜室のドアが完全に閉まっていなくても、ドアアラームは鳴りません。
- 湿気や水気を嫌う食材を野菜室に入れる場合は、容器や袋に密封してから入れてください。
- 保存する野菜や果物の量、種類、鮮度によって、保存状態が異なる場合があります。
- 野菜室の食品が少量の場合、高い湿度を保てない場合があります。

速冷室 冷凍室



速冷室：急速冷凍を行う
冷凍室：アイス、冷凍食品など長期間凍らせておく必要がある食品の保存

速冷室での保存上の注意

- 速冷室のドアが完全に閉まっていなくても、ドアアラームは鳴りません。
- 次のような場合、冷凍室に保存されている食材は、保存状態によっては霜がつくことがあります。
  ① 急速冷凍に設定する場合
  ② ドアを頻繁に開けたり、長時間開けっ放しにしている場合
  ③ 熱いものを入れた場合
- 食品を冷凍する場合は、鮮度の良いものを選んでください。
- 食品の乾燥を防ぐために、食品の保存にはラップや密閉容器、密閉袋などを使用してください。
- 解凍した食品を再冷凍すると、風味が落ちることがありますのでご注意ください。

食品の急速冷凍

1 冷凍保存袋に入れたりラップでくるんだ食品を速冷ケースの上に平らに置きます。

注意：

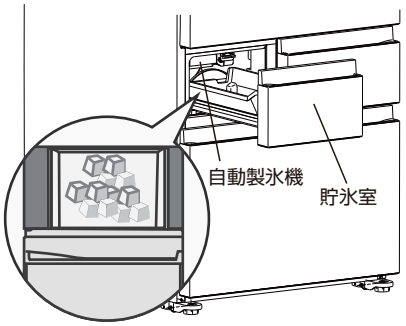
- ケースの変形や他の食品の劣化の原因となるため、手で持てないような高温の食品（容器）は入れないでください。
- 温かい食品を急速冷凍する場合は、ほかの食材から離してください。

2 「冷却機能」ボタンを押して急速冷凍モードを選択すると、ランプが点灯し、急速冷凍します。

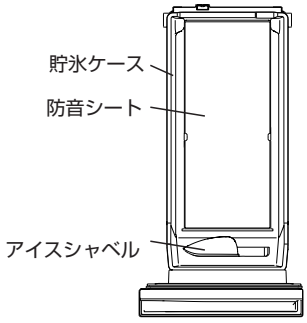
- 急速冷凍モードは約3時間作動した後、自動的に終了します。
- 急速冷凍機能を途中で止めたい場合は、「冷却機能」ボタンを繰り返し押して消灯させるか、「冷凍」ボタンを押して消灯させます。



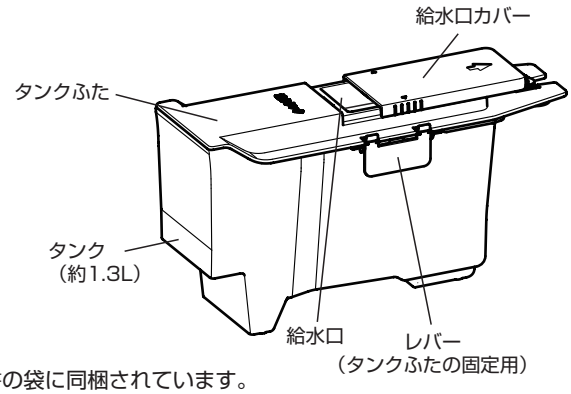
貯氷室(自動製氷機)



製氷室のドアを勢いよく開閉しないでください
（製氷室内の氷が奥に落ちることがあります）

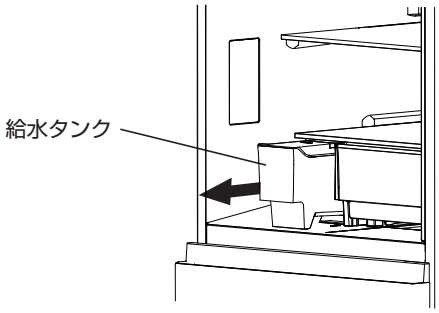


注：アイスシャベルは説明書の袋に同梱されています。
使用時に図の位置に置いてください。



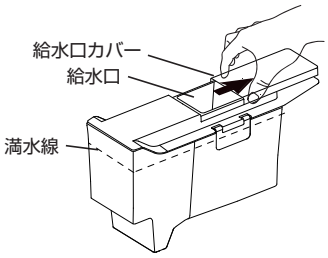
1 給水タンクを引き出す

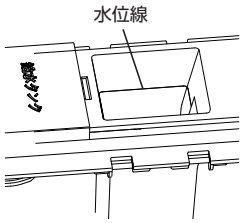
落下防止のため、給水タンクは少しきつめに格納されています。



2 給水タンクに水道水を入れる

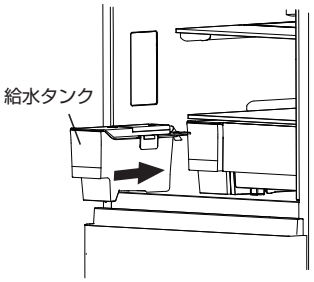
給水口カバーの両側をつまみ、図のように矢印の方向にスライドさせて開けます。水位線まで水を入れます。水位線を超えると、給水タンクを設置するときに水があふれやすくなります。





3 給水タンクを奥にしっかり押し込む

確実に押し込まないと、水を供給することができず、氷を作ることができません。カバーをしっかり締めないと給水タンクが奥まで入りません。





給水タンクをストッパ位置の奥に押し込むと、完全に押し込まれることを示します。

4 「製氷」ボタンを確認

「製氷」ランプが点灯していることを確認します。はやく作りたいときは「急速」に切り替えてください。「製氷停止」ランプが点灯していると製氷できません。

氷をはやくつくる

「製氷」ボタンを押し、「急速」ランプが点灯すると急速製氷が始まります。約10時間で、通常製氷モードに戻ります。

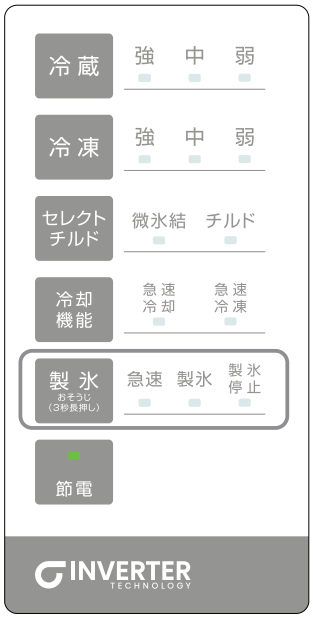
氷をつくらないとき

「製氷」ボタンを押し、「製氷停止」ランプが点灯すると製氷が停止します。製氷を開始するときは「製氷」に切り替えてください。

製氷ボタンの使いかた

「製氷」ボタンを押すと下記の順に切り替えます。

急速 → 製氷 → 製氷停止 →



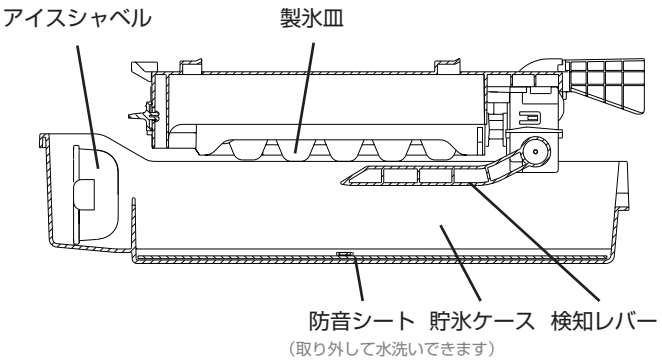
おそうじモード

「製氷」ボタンを長押しするとおそうじモードになります。
(☞16ページ)

貯氷室(自動製氷機)（つづき）

満氷検知について

検知レバーが自動的に氷の量を検知して、上限に達すると製氷機が停止します。



注意：

- アイスシャベルを貯氷ケースの中に入れないでください。検知レバーに引っかかると、貯氷ケースが取り出せなくなります。
- 氷が中央部分にたまると、検知レバーに触れ、製氷機が停止します。
- 氷の量を正しく検知するため、氷を平らにならし、アイスシャベルをアイスシャベル収納スペースに置いてください。

長時間使用しない場合

① 給水タンクの水を抜き、貯氷ケースから氷を取り除きます。
② 給水タンク、タンクふた、防音シート、アイスシャベル、貯氷ケースを掃除し、乾燥させてください。

製氷について

- 氷は、製氷皿から落下する際に割れる場合があります。
- 給水タンクが空（未使用）であっても、ポンプの作動音がする場合があります。
- 製氷が停止していても、満氷検知レバーが作動する場合があります。
- 周囲温度が0℃を下回ると、給水タンク内の水が凍結する場合があります。

■ 製氷時間および製氷量

氷の保存	自然に製氷したとき	約120個
	氷をならして製氷を続けたとき	約140個～160個
製氷時間（10個）	製氷モード	約110分～150分
	急速モード	約80分

初めて製氷するときは7～8時間かかり、夏場は24時間以上かかることもあります。ケース内の温度や使用方法によって所要時間は異なります。また以下の状況では製氷時間が長くなります。

- 節電モードのとき
- ドアを頻繁に開閉したとき
- 大量の食品を一気に入れたとき
- 冬場など、周囲の温度が低いとき
- 製氷皿を掃除したとき
- 冷凍室のドアが開いていたとき
- 冷凍室温度が「弱」に設定されたとき

製氷機を初めて使用するとき、または長い間使用していなかったときは、「お手入れのしかた」(☞16、17ページ)を参照して、製氷機を清掃してください。

注意：

- 給水タンクを持つときは、必ず手で支えてください。カバーだけ持つと、タンクが落ちることがあります。
- 水道水をおすすめします。
- 給水タンクには、水以外のお湯、お茶などを入れないでください。
- 給水タンクの水が1週間以上保管されていた場合は使用しないでください。
- 氷を作るために貯氷ケースに水を直接注がないでください。貯氷ケースが壊れる可能性があります。
- 水あかや雑菌を防ぐために、使用前には必ず給水タンクを水で洗浄してください。製氷室のドアを頻繁に開閉すると、氷がくっついて凍結することがあります。
- 初めて製氷するときは、製氷システムに臭いや汚れがついている可能性があるため、最初（約3回）にできた氷（約30個）を捨ててください。



■ こまめに給水タンクや製氷皿を水洗いしてください。

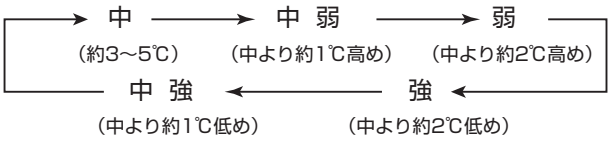


■ 水以外は、給水タンクに入れないでください。（故障や氷がつながるなどの原因になります。）

各機能の使い方

冷蔵室の温度調節

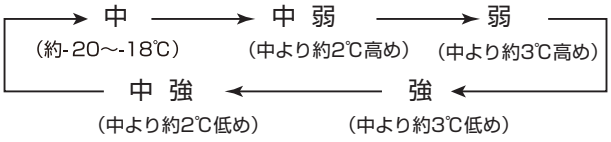
「冷蔵」ボタンを押すと、冷蔵室の設定温度が切り替わります。 ボタンを押すたびに、設定温度を以下の順番で切り替えます。



- ふだんは設定温度を「中」に設定してください。
- 冷蔵室の温度を下げたい場合、設定温度を「強」に設定してください。
- 冷蔵室の温度を上げたい場合、設定温度を「弱」に設定してください。
- ドアポケットは上記の温度より若干高めになります。
- 冷蔵庫周辺の温度が5℃以下の場合や、冷蔵・冷凍温度を長時間「強」に設定した場合、冷蔵室内の食品が凍結することがあります。

冷凍室の温度調節

「冷凍」ボタンを押すと、冷凍室の設定温度が切り替わります。 ボタンを押すたびに、設定温度を以下の順番で切り替えます。



- ふだんは設定温度を「中」に設定してください。
- 夏場などに、製氷の効果が弱いと思われたときは、「強」でお使いください。
- 冷凍室内の温度を下げたい場合（冷凍食品が多い場合）、設定温度を「強」に設定してください。冷凍室内温度が低くなり、消費電力が大きくなります。

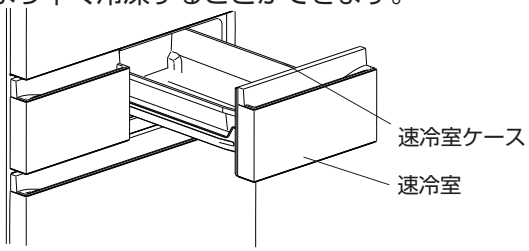
冷却機能

「冷却機能」ボタン押すと「急速冷却」ランプが点灯して１時間急速冷却運転を行い、自動的に通常運転に戻ります。

- 食品を早く冷却したいときは、「冷蔵室全体」の冷却を強める「急速冷却」モードを使います。調理後、あら熱を取る時間が短縮できます。
- 熱い食品を保存する場合は、火傷や棚の変形を防ぐために、手で触れる温度まで冷ましてから入れてください。



冷却モードボタンを押すと、『急速冷凍』ランプが点灯し、約3時間後に自動で運転を停止し、『急速冷凍』ランプが消灯します。
「急速冷凍」モードは、冷凍室を急速に冷却し、食品をより早く冷凍することができます。





注意：

- 「急速冷却」を使用し続けると、冷蔵室の食品が凍結することがあります。
- 「急速冷却」と「急速冷凍」は同時に設定できません。
- 「急速冷却」と「急速冷凍」を設定すると消費電力が増加します。

節電モード

各室の冷却を弱めて節電します。節電ボタンを押すと、「節電」ランプが点灯します。

- 節電モードをオンにすると、冷蔵室の設定温度は自動的に「弱」、冷凍室は自動的に「中弱」に調節されます。
- 節電モードをオンにすると、「急速冷却」または「急速冷凍」モードは自動的に終了します。
- 節電モードをオンにしても、セレクトチルド設定の「微氷結」または「チルド」モードは変更されません。
- 節電モードをオンにしても、製氷設定の「急速」、「製氷」、「製氷停止」モードは変更されません。ただし、製氷時間が長くなるか、製氷回数が少なくなります。
- 節電効果は使用環境によって変わります。

以下の場合は、節電モードを終了することをお勧めします。

- 冷却効果が弱い場合（例えば飲み物などが十分に冷えない場合など）、節電モードを解除してください。
- 冷蔵庫に食品をたくさん入れたり、熱い食品を入れたりした場合は、節電モードを解除してください。

「節電」モード解除のしかた

- 「節電」ボタンをもう一度押すと、ランプが消灯し、節電モードが解除されます。
- 節電モード中に、「冷蔵」または「冷凍」の設定を変更すると、自動的に節電モードが終了します。
- 節電モード中に、冷却機能の「急速冷却」または「急速冷凍」モードを設定すると、節電モードは自動的に終了します。

お手入れのしかた

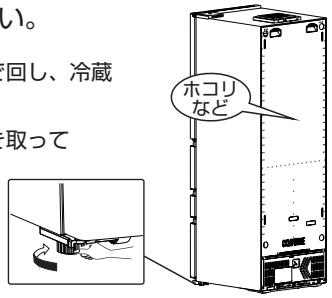
⚠ 警告	● お手入れの際は電源プラグを抜く。感電の原因になります。 ● お客様ご自身で分解、改造、修理を行わないでください。

汚れたらすぐにお手入れしてください。

庫内の汚れは、放っておくと取れにくくなります。汚れたらすぐにお手入れしてください。

- 水で薄めた台所用中性洗剤を含ませた布を固く絞ってふき取ってください。
- 庫内底面、ポケットなどは、汚れや汁がたまったらふき取ってください。
- ケース、棚など、汚れがひどいときは、取りはずして水洗いしてください。
- ドア表面の指紋や汚れなどで落ちにくいときは、薄めた中性洗剤で拭いたあと水拭きし、から拭きしてください。
- また、ホコリがたまると冷蔵庫の放熱に影響を与え、冷蔵庫の性能低下につながりますので、冷蔵庫の背面や床など目に見えないところも年に1～2回は掃除してください。

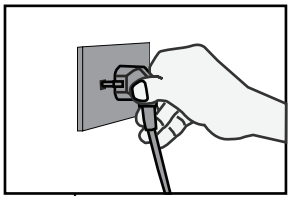
・調整脚を床から離れるまで回し、冷蔵庫を引き出します。
・背面、壁、床の汚れを拭き取ってください。



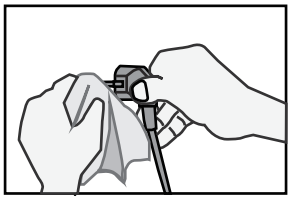
⚠ 注意	● ドアパッキングは汚れると傷みやすいので、こまめにお手入れしてください。 冷気漏れになるおそれがあります。 ● 食用油やバターなどの油脂類、かんきつ系の果汁など、汚れたらすぐにお手入れをしてください。 プラスチックの変色や変形のおそれがあります。 ● みがき粉、金属たわし、ベンジン、シンナー、漂白剤などは使用しないでください。 変色や変形のおそれがあります。

電源プラグ

- 感電や火災などを防ぐために、清掃後は電源コードや電源プラグを点検してください。



電源コードが損傷した（プラグが熱い、挿入が緩い）

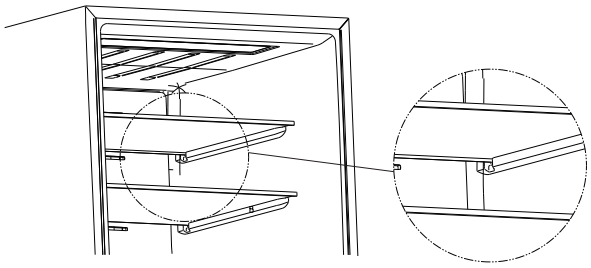


ホコリが付着した場合は、乾いた布で拭き取ってください

- ご不明な点がございましたら、ハイセンスサポートセンターまでご連絡ください。（23ページを参照してください）

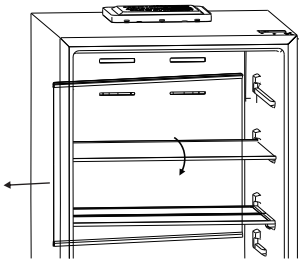
ガラス棚の取り外しと清掃

1 手で奥を持ち上げ、ガラス棚の裏面の突起を庫内のレールから外します。



2 ガラス棚を開口部まで引き、下方に約90°回転させます。

3 冷蔵庫の左側からガラス棚を（ドア本体が邪魔にならないように）外します。



下方に約90°回転させ、開口部まで引くと左側から取り出します。

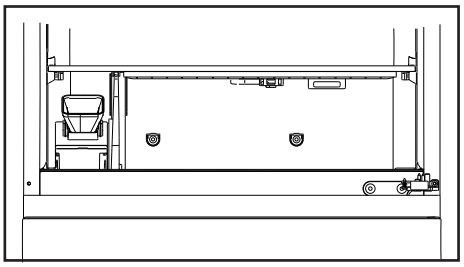
取り付けは逆の手順で。取り付け後、背面の突起が固定されていることを確認してください。

折りたたみ棚

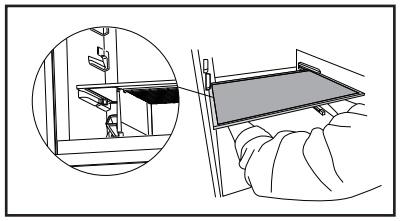
- 折りたたみ棚の取り外しおよび取り付け方法については、7ページの「折りたたみ棚」を参照してください。
- 取り外すと水道水ですすいで洗浄できます。

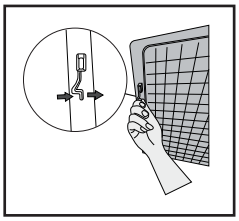
仕切り棚

1 仕切り棚下にある給水タンクとセレクトチルド室のケースを取り外します。



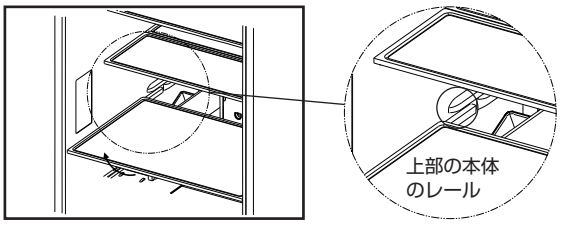
2 左右の手で、仕切り棚の裏面にある2つのバックルを内側に折り、前に引いて庫内のレールから外します。





お手入れのしかた（つづき）

3 バックルがレールから外れたら、両手で仕切り棚の後部が上部の本体のレールから外れるまで引き、仕切り棚を回転して取り外します。

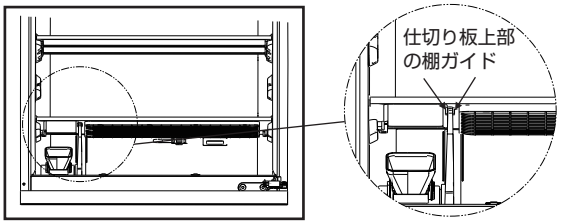


取付方法：仕切り棚をレールの上に置いて奥へ押してください。

注意：

仕切り棚下部のガイドでチルド室仕切り板をはさむようにしてください。

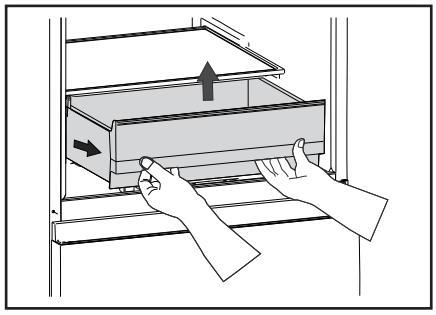
仕切り棚は内部に断熱材があり、水洗いできません。水で薄めた台所用中性洗剤を含ませた硬く絞ったやわらかい布で拭いてください。



セレクトチルド室

ケースを引いて手前側を持ち上げながら、さらに引き出します。

- 取り付けは逆の手順で。
- ケースは、取り外して水道水ですすいでください。



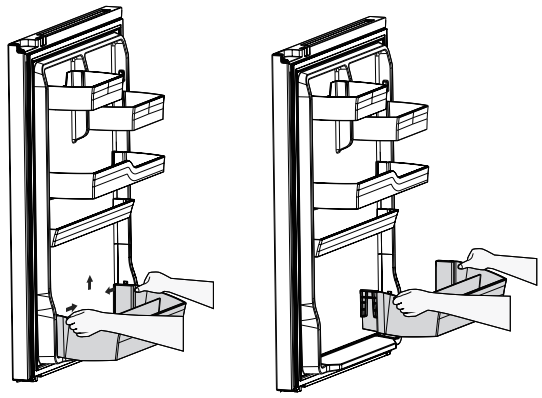
ドアポケット

取り外し方法

① ドアにはポケットを固定するための突起があります。ポケットの側面を押さえ、突起を避けてください。

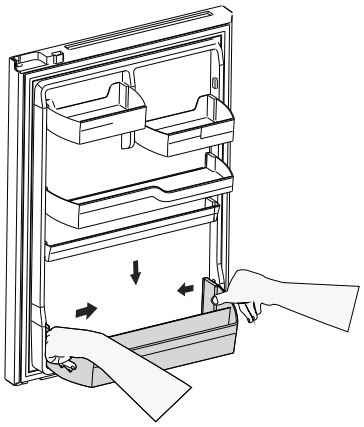
② ポケットを上に持ち上げ、ドア本体のつめから外れたら取り外します。

- ポケットは水道水ですすいでください。



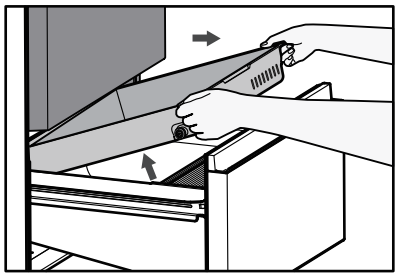
取り付け方法

ポケットをつめに差し込み、つめにぴったりとはまるまで押し下げます。取り付けが不十分な場合、外れて落下し、けがの原因となることがあります。



野菜室

1 ドアを最大限まで引き出し、野菜トレイを取り外します。

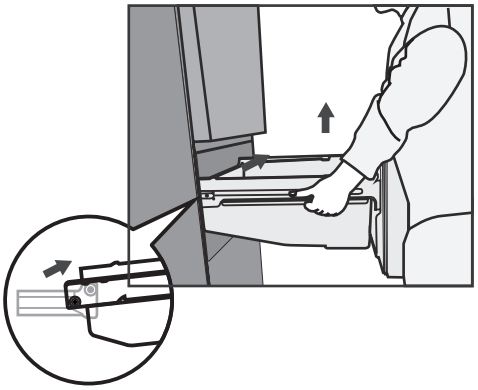


2 両手でドアの両側中央部を持ち、手前を持ち上げながら引くとさらに5cmほど引き出せます。

注意：引きすぎるとドアが落下する恐れがあります。

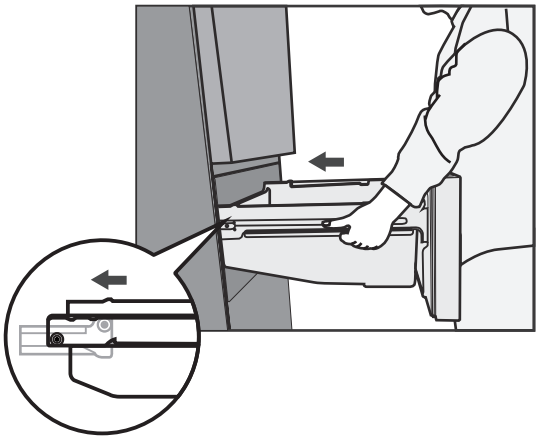
野菜ケースの手前から上にあげて取り出します。

または、ドアを上に持ち上げながら引き出し、ドア全体を取り出してから野菜ケースを取り外します。



お手入れのしかた（つづき）

● 取り付けは逆の手順で。ドアを取り付けるとき、ドアレール上のローラーをケースローラーの下に置き、庫内ローラーを板金レールの内側に置き、ドアを上に持ち上げながらドアを庫内に押し込みます。



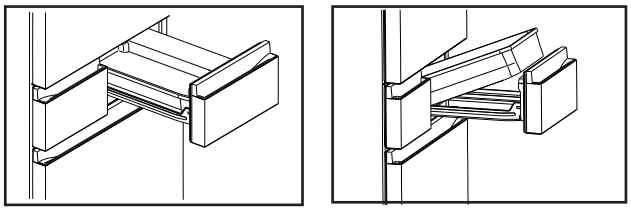
● 野菜トレーと野菜ケースはケースを取外し、水道水で洗ってください。

注意：

- 清掃するとき、ドアレール、ローラー、およびケースレールやローラーの潤滑グリースを拭き取らないでください。

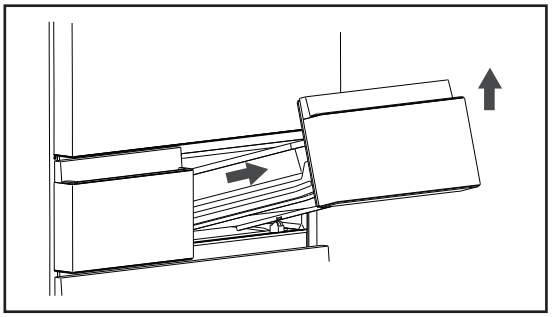
速冷室

1 ドアを最大限まで引き出し、速冷ケースを取り出します。



速冷ケースを取り出し

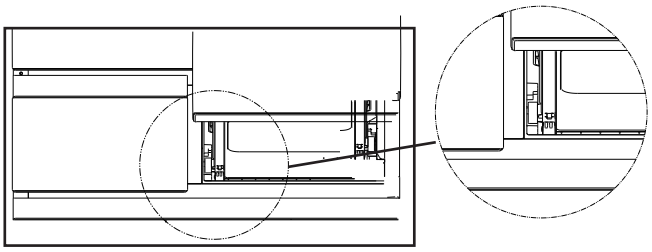
2 両手でドアの両側中央部を持ち、ドア本体を対角線上に外しながらドアを上に持ち上げます。



取り付けは逆の手順で。

● ドアを取り付けるとき、ドアレール上のローラーをケースレールの内側に置きます。

ドア本体を上に持ち上げます。ドアレールの突起をケースの突起より高くしながら、ドア本体を庫内に押し込みます。



注意：

- 清掃するとき、ドアレール、ローラー、およびケースレールやローラーの潤滑グリースを拭き取らないでください。
- ドアを取り付けるとき、ドアレールがケースの突起の間にあることを確認してください。冷蔵庫の損傷を避けるために、ドアが所定の位置にないときに無理にドアを押さないでください。

冷凍室、製氷室

冷凍室および製氷ドアは、野菜室と同じ方法で取り外してお手入れしてください。

自動製氷機

1 庫内配管

はじめて使用するとき、または1週間以上使用していない場合は、お手入れをしてください。

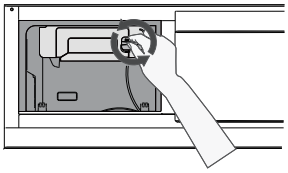
① 給水タンクを満水にして、貯氷ケースに氷がある場合は取りしてください。
② 貯氷ケースの中に清潔なタオルを1枚敷いてください。貯氷ケースに排水される水を吸い取るためです。
③ 野菜室と冷凍室のドアが閉じていることを確認してください。
④「製氷」ボタンを3秒間長押しすると、「おそうじ」モードになります。
(10秒以内に他のボタンを押すとキャンセルされます。)
アラーム音がピッと鳴り、製氷の3つのランプが同時に点滅します。約2分後、ランプの点滅が消えて「おそうじ」モードが終了します。（おそうじ中に貯氷室のドアを開けると、おそうじモードは停止します。貯氷ケースが氷で満杯の場合は、おそうじモードは実行されません。）
⑤ 貯氷ケースから防音シートを取り出し、乾いたタオルで防音シートと貯氷ケース内の水分を拭き取ります。
拭いたあとタオルを取り出すのを忘れないでください。
⑥ 防音シートを貯氷ケースに入れてつめに挿しこんで固定します。「おそうじ」モードが終了すると、自動的に「製氷」モードに戻ります。

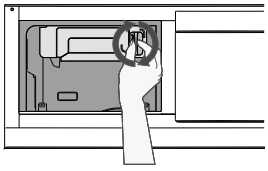
2 製氷皿

製氷機を清潔に保つには、年に1～2回お手入れすることをおすすめします。

①「製氷」ボタンを押して、「製氷停止」モードにします。
② ノブを時計回りに回して垂直の位置にするとロックが解除されます。
③ ハンドルを持ち、製氷皿を水平に引き出します。
④ きれいな水で製氷皿をすすぎ、よく乾かします。
⑤ 逆の手順で取り付けてください。

お手入れのしかた（つづき）


ノブロック


ノブロック解除

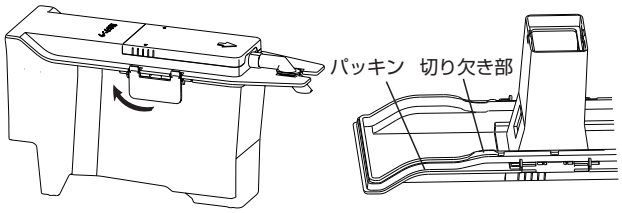
注意：

- 製氷皿の清掃後はよく乾燥させてください。製氷皿のノブが凍結して、通常の製氷ができないおそれがあります。
- スポンジやクレンザーなどを使わないください。表面が傷つき氷が落ちにくくなります。
- 製氷皿が正しく入いらない場合があります。「製氷停止」モードに設定します。約1分経ってから入れ直してください。カチッと鳴るまで奥に押し込んでください。

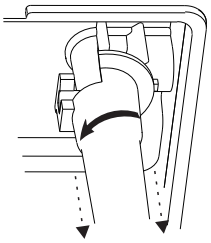
3 給水タンク

タンク、タンクふた、パッキンは、週に1回お手入れすることをお勧めします。

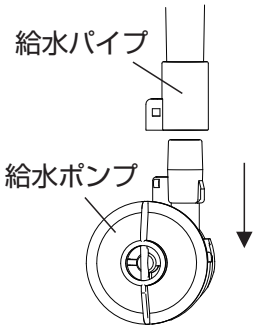
①タンクふたを取り外すには、両側のレバーを上方に折り曲げます。
②タンクふた内側の切り欠き部からパッキンを外します。
取り付けは逆の手順で。



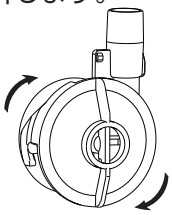
給水パイプと給水ポンプは、月1回お手入れすることをおすすめします。
①給水タンクのフタを外して、給水パイプを取り外します。



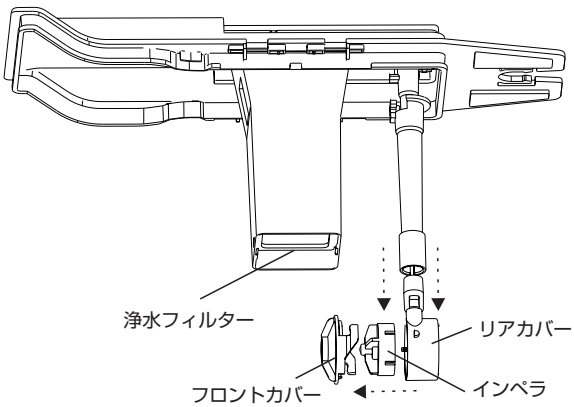
②給水ポンプを給水パイプからしっかりと引き下げて取り外します。



③給水ポンプのフロントカバーとリアカバーを時計回りに回して取り外します。



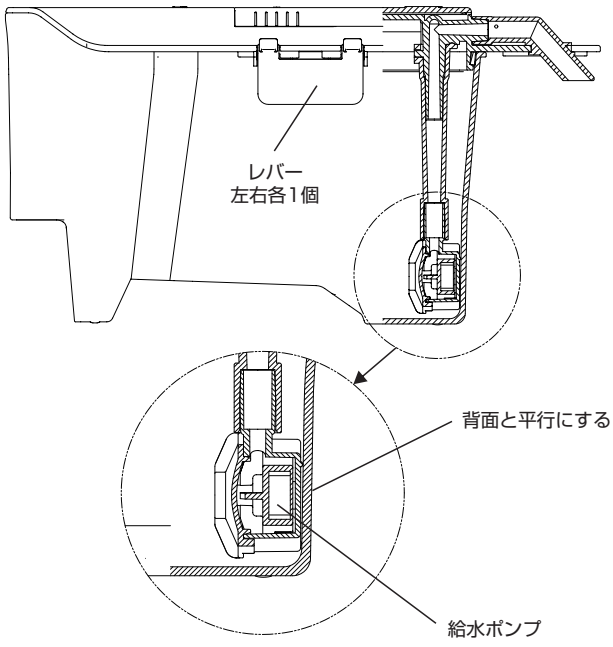
- 浄水フィルターはタンクふたの給水口底にありますが、とりはずせませんので、水ですすいでお手入れしてください。タンクふたの3年ごとの交換をおすすめします。(☞２１ページ)



取り付けは逆の手順で。さいごに全ての部品が所定の位置にあることを確認してください。

4 タンクふた

正しくタンクふたのレバーを固定すると「カチッ」と音がします。所定の位置にないと、給水されなかったり給水ポンプの音が大きくなったりします。



給水ポンプがタンク壁面と平行になっていることを確認してください。

こんなときは

停電したとき

● ドアの開閉を減らし、新たに食品は入れないでください。

● 停電が予告されたときは、事前に氷をたくさん作り、容器に入れて冷蔵室、野菜室に入れておくと、冷蔵室、野菜室の食品の温度が上がりにくくなります。

電源プラグを抜いたとき

● すぐに差し込まないでください。コンプレッサーの故障の原因になりますので、10分以上経ってから差し込んでください。

長時間使わないとき

● 庫内のものをすべて取り出して、以下の手順で掃除してください。

1 電源プラグを抜く。
2 庫内を掃除する。
3 カビやニオイを防ぐため、2～3日間ドアを開けて乾燥させる。

製氷機を長期間使わないとき

● タンクから水を抜き、製氷を止め、洗浄して乾燥させます。
1 タンクから水を抜く。
2 「製氷」ボタンを押して、製氷停止モードにする。
3 残った氷を製氷皿から貯氷ケースに入れる（長期間氷を使わないと、氷が昇華現象で小さくなったり、つながったりする）。
4 タンクを水で洗浄し、水分を拭き取った後、元の場所に戻す。浄水フィルターは十分に乾燥させる（フィルターには水分が残っていると、カビや臭いの原因となる）。
5 再び製氷機を使用するときは、「製氷」ボタンを押して「製氷停止」モードを解除する。

引っ越しするとき

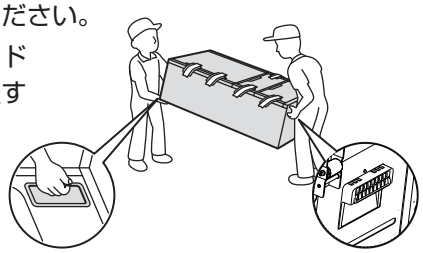
● 横積み、上下逆積み輸送はしないでください。故障の原因になります。

● 移動や運搬は必ず2人以上でおこなってください。

移動、運搬するとき

● 以下の手順でおこなってください。

1 製氷を止め、庫内の食品と氷を取り出す。
2 タンクを取り外し、水を抜く。
3 電源プラグを抜き、ドアと電源コードをテープで固定する。
4 脚カバーを外し、調整脚を回して上げる。
5 冷蔵庫後ろの蒸発皿の水が残っていると、水が床面にこぼれることがありますので、冷蔵庫の下に布など敷いて傾けてください。
6 運搬する時は、運搬用取っ手を使う。ハンドルやドアを持つと冷蔵庫が落下したり破損することがあります。
7 新しい場所に設置したときは、本書「ご使用の前に」を参照する。



廃棄処分するとき

⚠ リサイクルの際、ドアパッキンをはずしてください。幼児が閉じ込められるおそれがあります。

● 家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの冷蔵庫を廃棄される場合は、収集・運搬料金・再商品化などの料金をお支払いいただき、対象商品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。詳細に関するお問い合わせは、家電製品協会家電リサイクル券センターまでお願いいたします。

電話：（フリーダイヤル）0120319640
ホームページ（URL）：https://www.rkc.aeha.or.jp/

故障かな？！

ご使用中に異常が生じたときは、つぎの点をお調べください。それでも調子が悪いときは、ただちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにご連絡ください。

こんなとき	お調べいただくこと/なおしかた
機器が正常に動作しない	● 電源プラグが抜けたり、ご家庭のブレーカーが落ちていないか確認してください。 ● 自動霜取り動作時、または本機の電源が入ってからしばらくはコンプレッサーを保護するために運転しない場合がありますが、異常ではありません。
よく冷えない	● ドアの開閉がひんぱんだったり、半ドアになっていませんか。 ● 直射日光が当たっていたり、近くに熱源がありませんか。 ● 食品を詰めすぎたり、熱いものが入っていませんか。 ● 温度設定が「弱」になっているとき。→「中」以上に上げてください。 ● 吹き出し口が食品などでふさがっていませんか。 ● 節電モードになっていませんか。→節電モードを解除してお好みの設定にしてください。
庫内がにおう	● 使い始めはプラスチックからにおいがする場合があります。十分に冷えてくると次第ににおいは少なくなります。 ● 庫内をお手入れしてください。 ● 食品の種類や保存のしかたによってはにおいが発生するものがあります。
音がうるさい	● 以下の音は異常ではありません。 1 コンプレッサや庫内ファンの音「ブーン」、「キーン」。 2 沸騰に似た冷媒音「ブシュー」、「ザー」、「ボコボコ」。 3 自動霜取りのはじける音「コツコツ」、「ジュー」。 4 自動製氷機の音「ウィーン」、「ゴトゴト」。
	● 設置状態を確認してください。(☞3ページ) 1 冷蔵庫は水平になっていますか。 2 冷蔵庫の側面や背面が壁に接触していませんか。 3 冷蔵庫と壁や床面の間に物品がはさまっていませんか。
運転時間が長い	● インバーター制御でコンプレッサーの回転速度を調整しているため、止まらない場合がありますが故障ではありません。 ● 節電モードの場合、コンプレッサーをゆっくり運転させて省エネ運転をしているため、運転音が長く感じることがあります。
冷蔵庫表面が熱い	● 冷蔵庫に発生する熱を放熱するため、設置直後や夏場は５０～６０℃になることがあります。安全及び性能上は問題ありませんが、手を触れないでください。 ● 放熱のため足元から暖かい風が出ることがあります。
閉めたとき、他のドアが開く	● ドアを閉める風圧を逃がすため一瞬開くことがあります。
アイスクリームがやわらかい	● 冷蔵庫の設定を確認し、必要に応じて冷凍室の温度を低く設定してください。 ● 「節電」モードで長時間運転すると、冷凍室の温度が高くなるため、「節電」モードになっているか確認してください（節電ランプが点灯している）。

故障かな？！（つづき）

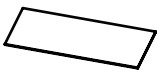
こんなとき	お調べいただくこと/なおしかた
庫内に霜がつく	● 吹き出し口が食品によってふさがれていないことを確認し、充分な通気ができるように庫内の食品の位置を調整します。ドアが完全に閉まっていることを確認してください。
庫内温度が高すぎる	● ドアを長時間または頻繁に開けたままになっていたか、あるいは本機の両側面、背面、上面の隙間に十分な余裕がない場所に設置されていないか確認してください。
庫内温度が低すぎる	● 各部屋の「温度調節」の方法に従って温度を上げてください。
床に水滴が落ちる	● 冷蔵庫の前面に水滴がある場合は、冷凍室が開いていないことを確認します。後ろ側の場合は水滴は蒸発皿の異常が考えられます。お買い上げの販売店または弊社サポートセンターにお問い合わせください。
LED庫内灯が点灯しない	● LED庫内灯は、冷蔵室のドアを開けてから10分後に自動的に消灯します。ドアを閉め、もう一度開けると、LED庫内灯が点灯します。
氷ができにくい	● 「製氷」モードが適切に設定されているか確認してください。 ● 頻繁にドアを開けないでください。 ● 冷蔵室の温度設定が「弱」になっていないか確認します。→「中」または「強」に変更してください。 ● 食品がドアに挟まれていて、開いたままになっていないか確認してください。
氷が小さくなるか、くっつく	● 氷が長時間未使用のままでいると、昇華現象によりだんだん小さくなることがあります。 ● ドアが開いたままになっていませんか。
氷が最初から塊になっている	● 製氷皿をカチッという音がするまで押し込んでください。 ● 製氷皿が破損していないか確認してください。
氷が白く濁っている	● 急速製氷のときなど、氷の中に水分中の空気が閉じ込められて白く見えることがあります。 ● ミネラルウォーターなどでは、ミネラル成分が凍り白く濁ることがありますが無害です。水道水でもミネラル成分が多い地域があります。
氷のニオイが気になる	● ヌメリや水あか防止のため、自動製氷機のお手入れをしてください。(☞16, 17ページ)

故障かな？！（つづき）

こんなとき	お調べいただくこと/なおしかた
製氷皿を引き出せない	● 「製氷停止」モードに設定になっていませんか。 →ランプが点灯するまで「製氷」ボタンを押します。その後、製氷皿を引き出します。
製氷されない	● 「製氷おそうじ」モードでお手入れ (☞16，17ページ)後、「製氷」ボタンを押して「製氷停止」にしてください。
ドアの内側に小さい穴がある	● ドアの断熱材を発泡する際、空気を抜くための穴です。数カ所ありますが、不良ではありません。
側面がゆがんで見える	● 製造工程でゆがみや波打ちが生じますが、異常ではありません。また、性能上問題ありません。
プラスチック部品には傷のような細い線がある	● 成形する際に発生する樹脂の流れの跡です。部品強度に問題はなく、割れに至ることはありません。

別売品

別売品については、冷蔵庫を購入された販売店にお問い合わせください（形名および希望小売価格は変更される場合があります）

形名	部品型番	
タンクふた (浄水フィルター付)	2470563	
防音シート	2429665	

仕様

形名		HR-KC45L
定格内容積	総容積	450L
	冷蔵室	242L<195L>
	うちセレクトチルド室	<16L>
	野菜室	87L<54L>
	貯氷室 （☆☆☆）	17L<3L>
	速冷室 （☆☆☆）	21L<11L>
	冷凍室 （☆☆☆）	83L<50L>
定格電圧		100V
定格周波数		50Hz/60Hz共用
電動機の定格消費電力		90/90W
霜取装置の 入力		180/180W
年間消費電力量		冷蔵室ドア内側の品質表示銘板に表示
冷媒（封入量）		R600a(70g)
発泡剤		シクロペンタン
電源コード（有効長）		1.8m
外形寸法（幅×奥行×高さ）		598mm×698mm×1835mm
質量		95kg

- 定格内容積は日本産業規格（JIS C98013:2015）に基づき、庫内の温度制御に必要でない部品（棚やケースなど）をはずした状態で算出しています。
- 目標温度はJIS C9801-1:2015およびJIS C98013:2015により区別されます。
- <>は食品収納スペース(貯蔵室ごとの実際に食品を収納することができる空間の容積)の目安です。JIS C98013:2015に基づき、庫内部品を取り付けた状態で算出しています。
- 本製品は日本国内家庭用であり、海外での使用や業務用には適しておりません。

冷凍室の性能について

- この冷蔵庫の貯氷室、速冷室、冷凍室の性能は「フォースター」 です。
- 冷凍室の性能
  日本産業規格JIS C 9607に定められた方法で試験したときの冷凍室内の冷凍負荷温度(食品温度)によって表示しております。

記号	☆☆☆ フォースター
冷凍負荷温度(食品温度)	-18℃以下
冷凍食品貯蔵期間の目安	約3ヶ月

- 冷凍食品の貯蔵期間
  冷凍食品の貯蔵期間は、食品の種類、店頭での貯蔵状態、冷蔵庫の使用条件などによって異なります。

消費電力量について

- 年間消費電力量は、JIS C 98013:2015に基づいて測定方法と計算方法において得られた値を表示しています。
- 使用時の消費電力量は、各庫内の温度設定、周囲温度、ドアの開閉頻度、食品の投入量などの条件により変動する場合があります。
- 霜取りの間隔は実際の使用状況に関係し、最大96時間、最小12時間です。

アフターサービスについて

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い上げの販売店、または弊社サポートセンターへお問い合わせください。

● 保証書（裏表紙）

「お買い上げ年月日」と「販売店名」等所定事項の記入及び記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みになり大切に保管してください。

● 保証期間：（お買い上げ日から）本体3年間

ただし、冷媒循環回路（圧縮機、凝縮器、冷却器、毛細管、配管）は、5 年です。

● 補修用性能部品の保有期間9年

この商品の補修用性能部品は、製造元が製造打ち切り後9年保有しています。
注：補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理を依頼されるとき

「故障かな！？」の表にしたがってご確認ののち、直らないときは、まず安全のため電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターへご連絡ください。離島等で修理を依頼された場合、離島または離島に準ずる遠隔地修理を行うと、遠隔地出張費用をご負担いただきます。（実費）
なお、食品の補償など、商品の修理以外の責は、ご容赦ください。

● 保証期間中は

保証書の規定にしたがって、出張修理、または（場合によっては）商品の交換をさせていただきます。

● 保証期間終了後は

保証期間終了後は診断をして、修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

● その他

- 商品に異常がある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。
- アフターサービスについてご不明な点は、弊社サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 電話によるお問い合わせ

受付時間：365日 9:00～18:00
固定電話：0120−835−111
携帯電話：0570−033−677（有料）
※上記電話番号がご利用いただけない場合
：050−2018−6700（有料）

● FAX によるお問い合わせ

FAX番号：0570−06−1117（有料）
お客様のご連絡先、型番、ご購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

● メールによるお問い合わせ

電子メールでのお問い合わせは
http://www.hisense.co.jpのお問い合わせのページで受け付けています。お客様のご連絡先、型番、ご購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。
受付時間：24時間受付。土日・祝祭日を挟んだ場合、およびご質問の内容によっては、回答までに日数がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。
サポート受付に関しては変更させていただく場合がございます。
当社のホームページでサービス時間を確認してからご利用ください。

ハイセンスサポートセンター	**固定電話：0120−835−111** **携帯電話：0570−033−677（有料）**

5ドア冷凍冷蔵庫　保証書 出張修理

品番	HR-KC45L
お買い上げ日	年　月　日
保証期間	お買い上げ日より本体 **3年間** ※ただし、冷媒循環回路（圧縮機、凝縮器、冷却器、毛細管、配管）は、5年です。
お買い上げ店 住所・店名・電話	

【お客様情報】

お名前	
ご住所	
お電話番号	

Hisense
ハイセンスジャパン株式会社
〒212-0013
神奈川県川崎市幸区堀川町66-2
サポートセンター電話番号：
固定電話：0120-835-111
携帯電話：0570-033-677(有料)
受付時間：365日　9:00 ～ 18:00

修理のお問い合わせに際して、＜修理規約＞
https://www.hisense.co.jp/repairpolicy/
をご確認下さい。
あわせて、以下の＜無償修理規定＞
をお読みください。
FAXによるお問い合わせは、取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

〈無料修理規定〉

1 取扱説明書・本体表示の注意書きに従い、正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、本書記載内容の範囲内で無料修理いたします。 お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。

2 ご転居・ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理を依頼できない場合は、ハイセンスサポートセンターへお問い合わせください。

3 保証期間中でも、次の場合には有料修理になります。
(イ) 使用上の誤りや、不当な修理・改造による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動・引っ越し・輸送・落下などによる故障または損傷。
(ハ) 火災・水害・落雷・地震・その他の天災地変、公害・塩害・異常電圧などによる故障または損傷。
(ニ) 一般家庭用以外（たとえば業務用・車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障または損傷。
(ホ) 本書のご提示がない場合。
(ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入または押印がない場合
(ト) 樹脂表面 (フッ素樹脂加工も含む) 及びメッキの摩耗や打痕による損傷。

4 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

5 この保証書は日本国内においてのみ有効です。

★保証書にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動、以後の安全点検活動に利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
★この保証書は、明示した期間・条件のもとで修理をお約束するものです。 したがって、この保証書により保証書発行者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
★保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはハイセンスサポートセンターへお問い合わせください。
★保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書のアフターサービスについて をご覧ください。
★離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理対応を行った場合は実費を申し受けます。

愛情点検



長年ご使用の冷凍冷蔵庫の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 焦げ臭いニオイがする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 触れるとビリビリと電気を感じる。
- 据え付けが傾いたりぐらぐらする。
- その他、異常・故障がある。

異常があればご使用中止

事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

廃棄時のご注意

2001年4月施行の家電リサイクル法ではお客様がご使用済みの電気冷蔵庫を廃棄される場合は収集・運搬料金と再商品化等料金 (リサイクル料金) をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村へ適正に引き渡すことが求められています。

ハイセンスジャパン株式会社

神奈川県川崎市幸区堀川町66-2

20387481